



令和元年9月号に寄せて

全国市議会議長会

会長 野 尻 哲 雄

私の住む大分市は、緑豊かな山々と青い海や川に恵まれた地勢を有し、古くから東九州の要地として重要な役割を担ってきました。昭和39年に新産業都市に指定されて以降、産業集積が飛躍的に進み、平成17年の佐賀関、野津原両町との合併を経て、多彩な魅力と活力に満ちた県都として大きく成長してきました。

さて、私は、令和元年6月11日の第95回定期総会において、全会一致のご推挙により、第63代全国市議会議長会会長に就任いたしました。

地方分権が進み、市議会の役割と責任が増しております。市議会には、多様化する民意の市政への反映と集約が期待されていますが、一方で、小規模市議会では議員のなり手不足が深刻化しております。

そこでまず、市民にとって魅力ある議会をつくる必要があります。先般の第95回定期総会においても決議をしたところではありますが、市民とのコミュニケーションを深めるとともに、行政監視・課題提起能力の強化、政務活動費の適正な執行など、議会に対する市民の理解と信頼の向上に取り組む所存です。

併せて、多様な人材の市議会への参画を制度的に促進するため、サラリーマン等が議員に転身しても切れ目なく厚生年金の適用を受けることができ、老後の生活や家族を心配することなく選挙に立候補できる環境整備として、厚生年金への地方議会議員の加入実現に全力を傾注してまいります。

総務省においても「地方議会・議員のあり方に関する研究会」が設置され、今後の地方議会・議員のあるべき姿や多様な人材が地方議会に参画しやすくなるための方策等について、幅広く議論が行われております。本会も構成員の一員として、研究会の動向に適切に対応してまいります。

また、地方創生を実現し、人口減少を克服するとともに、医療・介護の充実や、防災・減災対策など、地域の実情に応じた行政サービスを安定的に提供するためには、地方分権の更なる推進と地方税・地方交付税等の一般財源総額の確保が不可欠です。これらの実現に向けて、引き続き国に対して強く要望してまいります。

近年、豪雨・地震等の大規模災害が頻発しており、一般財団法人全国市町村振興協会が実施されている災害関連事業が、被災市町村にとって大変有意義なものとなっております。サマージャンボ（市町村振興宝くじ）及びハロウィンジャンボ（新市町村振興宝くじ）の収益は、市町村の貴重な財源であります。本会といたしましても、販売促進に取り組んでまいりますので、今後も支援の継続をお願いいたしますとともに、貴協会の更なるご発展を祈念申し上げます。